

1 実施日 令和7年3月3日(月) 15:00~16:30

2 出席者

(1) 協議会委員(五十音順)

柏原 泰和(川西地区青少年健全育成協議会会長)

川端 康寛(三島高等学校同窓会会長)

林 武文(関西大学教授)

藤原 崇(三島高等学校PTA会長)

松葉 祐治(高槻市立郡家小学校校長)

(2) 校長 山下 克弘

(3) 事務局

山崎 一郎 教頭 廣澤洋二 首席 一馬 愛 首席 古謝 伸二 事務長

3 議題

(0) 1月29日(水)開催の「令和6年度音楽会」の映像を鑑賞

(1) 学校教育自己診断について

(2) 令和6年度学校経営計画評価及び令和7年度学校経営計画について

4 委員会からの指摘提言

(1) 学校教育自己診断について

- ・図書館の活用について滞在型の図書館などもあるので、もっと工夫ができそう。
- ・保護者の意見(施設設備の充実化など)を吸い上げてくれる項目は作れないだろうか。
- ・生徒・保護者は多くがアンケートに回答しているが、教員が少ないので、答えやすい環境作りを。
- ・グローバル社会をリードできる生徒の育成を意識して、高校でリーダーシップを経験できる機会をできるだけ作ってほしい。三島高校の大切にしている自主自律にもつながる。
- ・リーダーも必要だが、リーダー以外の生徒も含めて、多様なタイプの生徒を評価し、支援できる学校であってほしい。
- ・自主自律で、それぞれがリーダーシップを発揮する。いろいろなタイプのリーダーがいて、社会に出て協働していく。三島高校としても、人としての力というところを大事にしているし、数値としても出せたらよいのではないか。
- ・学校説明会で2000人以上来るような人気のある学校だが、私立だけでなく、府立高校も設備面を充実させる要望が実現できないだろうか。
- ・中学生へのPRは大学同様に、InstagramやXなども活用できないだろうか。
- ・教員の努力だけでなく、環境面(施設設備等)での整備を府教委に要望したい。

(2) 学校経営計画について

- ・生徒に進路選択の情報を幅広く提供してほしい。
- ・国公立の進学実績はまだ結果が出ていないが、難関私立大学の合格者が増えているのは評価できる。
- ・時間と労力のかかる場所である進路相談についての評価が上がっている。
- ・遅刻は他校と比べると少ない。ゼロにするのは難しいが、引き続き取り組んでほしい。
- ・遅刻指導の見直しについては、生徒も納得がいくように、担任と生徒がコミュニケーションを取りながら取り組んでほしい。
- ・少子化の中での学校の在り方への危惧もあるが、公的な学校の在り方を考えていくことが必要。
- ・家庭学習については、自習室など勉強場所の確保を含めてのサポートを考えてほしい。
- ・三島らしさ、三島高校の特色を出すのに、卒業生のいる企業との連携が何かできないだろうか。
- ・数値目標はいいが、先生方に負担がかかりすぎないようにしてほしい。
- ・施設設備面の整備が急務。どうしても現状ではそこで私立に流れている。
- ・高大連携で、大学からのインターンの受け入れは継続していただきたい。

※令和7年度学校経営計画は全員一致で承認された。